

「安田女子大学 国際化ビジョン 2020」について

2014年7月16日

本学では、これまでも英語英米文学科における学科全員留学や TOEIC の全学生受験等、グローバル人材の育成に取り組んでまいりました。さらに、取り組みを拡充するために、「学生の海外留学の推進と充実」「外国語教育の充実」「海外大学との連携強化」の3つの領域において2020年へ向けて目標を示し、「安田女子大学 国際化ビジョン 2020」として策定しました。今後は、このビジョンのもと、全学による国際化を進めていきます。

安田女子大学 国際化ビジョン 2020

1. 学生の海外留学の推進と充実（海外派遣学生数を5%から15%へ）

学科全員留学プログラムについては、学科の特性に沿って学びの内容を充実します。また、選択プログラムについては、多様化する学びのニーズに応じた、より多彩なプログラムを構築します。併せて、海外留学予備教育の充実を図ります。個人留学については、帰国後の単位認定等アフターケアを行うなど、個人による海外留学も併せて推進します。

2. 外国語教育の充実

2014年より全学生の TOEIC 受験を義務化するのに伴い、今後、学科ごとに基準となる点数の指標を設定し、英語運用能力の向上を促します。また、英語による講義の増加と充実をはかると共に、教養科目にグローバル人材育成に資する科目を配置します。

3. 海外大学との連携強化（連携大学数を8大学から15大学へ）

国際交流の拠点整備のため、国際センターを設置します。現在8大学である海外連携大学を、2020年までに15大学へと拡大します。同時に、各大学との関係強化の観点から、教職員の海外連携大学への派遣や、連携大学からの留学生・研究者の受け入れ態勢を整備します。長期の派遣や受け入れだけでなく、海外からの短期研修や交流行事についても積極的に受け入れます。